

愛媛県がん診療連携協議会 がん相談支援専門部会

令和4年度 がん相談支援センター活動のPDCA実施チェックリストに関する報告書

令和5年2月22日

がん相談支援専門部会

チェックリストWG

## I. 目的

がん相談支援センター活動のPDCAサイクルを確保し、県内全体のがん相談支援の機能強化と質向上を目指す

## II. 令和4年度の活動目標

1. 昨年度作成したグーグルフォームでの入力・集計のフォームを使用し、各病院で評価する。
2. 新しいフォームの使用について、各施設からの意見を集約し、フォームを洗練化する。
3. チェックリストの全体評価は3年毎に実施し、全体評価を実施しない年度は、重点的に取り組んだ方が良いと思われる項目をワーキングより提案し、専門部会で承認を受けた項目のみ評価する。
4. 今年度の重点項目①患者を孤立化させない支援（チェックリスト項目 1-1-1・2・4・5・6・7・8 2-1）②研修参加の促進（チェックリスト項目 1-2-1・2・3）についてのみ、各拠点・推進病院で評価した内容をまとめ、県内の現状を把握し昨年度との比較から、課題を明らかにし次年度活動に活かす。

## III. 活動内容

- 令和4年7月14日 専門部会にて、上記活動目標と方針について提案し、承認を得た。
- 令和4年11月末 各施設でチェックリスト評価の実施
- 令和5年2月 チェックリスト評価の集計および意見・感想のまとめ・報告書の作成
- 令和5年3月 専門部会に配信し、承認を得る

## IV. 結果と分析内容（詳細は資料参照）

例年通りPDCAサイクルの確保のため、全病院が28項目の評価を実施した。

専門部会では令和4年度の重点項目を①患者を孤立化させない支援：8項目 ②研修参加の促進：3項目とし、重点項目11項目のみを評価した。

- ① センターの案内：全病院が実施できた。
- ② センターの周知・広報：診断初期から介入体制整備については、全体的に取り組みが進められている。院内PRについては、「取り組んでいる」という回答は減ったが、院内連携、協力体制構築に向けて取り組みを検討している病院が増えており、今後に期待できる。サロンの広報については「取り組んでいない」という回答が増え、これはコロナ禍の影響と考える。
- ③ サロン運営・患者会支援：コロナ禍の影響は変わらず、取り組み状況もほぼ横ばいである。ただ、感染対策を行いながら実施、オンライン利用の検討など施設内での工夫、再開に向けての

検討など各病院での前向きな取り組みが見られた。

- ④ 相談対応の質の担保：質の担保への取り組みは、推進病院では、研修参加など前向きに検討され改善した病院が多かった。
- ⑤ 地域との連携強化：正確な情報の提供については、ほぼ全施設で取り組んでいる。検討中と回答した病院もより対応の質を向上させるための検討をしているという回答であった。
- ⑥ 全体評価

昨年度の評価と比較して、重点項目の評価が下回った数は、16個であったが、その内コロナ禍の影響があると考えられるものが7個あった。その他の評価が下回った結果の中には、昨年と同様に取り組みはしているが、さらに質を向上させるための検討をしているため、「検討中」と回答したものもあり、改善への取り組みを具体的に行っている病院が多かった。改善数は拠点病2個、推進病院12個みられ、全体的に重点項目についての改善は進んだと評価できる。特に推進病院の重点項目についての改善は著しい。

・重点項目①患者を孤立化させない支援・・・センターの案内や周知、広報については各病院で前向きに取り組まれ、全体的に改善された。しかし、サロンに係る取り組みについては、依然としてコロナ禍の影響により、横這いの結果となる中コロナ禍での取り組みについて工夫や検討が行われており、今後に期待したい。

・重点項目②研修参加の促進・・・研修参加など、推進病院での改善がみられた。今後も県全体の質向上の取り組みを継続していく必要がある。

## V.活動全体の評価

1. WEBフォームでの回答については、回答者の負担も少なく好評であった。また、ワーキングメンバーの作業負担も軽減された。
2. 専門部会で重点項目をあげることで、各病院が意識して取り組むことができ、結果改善につながったと思われる。(研修会への参加など)

## VI.その他 (チェックリスト記載の意見)

### 【チェックリストに関する感想や意見】

- ・入力しやすかった。今後もWEBフォームを使用した回答を希望(4病院)
- ・入力途中一時保存できると良い(1病院)
- ・管理者向けの項目の回答は悩んだが重要なことだと再認識した。
- ・新指針で求められる事が増え、自施設の達成状況の確認ツールとして役立つと感じた

### 【各病院相談支援センター 次年度の目標】

- ・がん相談支援センターの周知・広報・診断初期にアクセスできる体制整備 (6病院)
- ・研修会の参加による質の向上(6病院)
- ・イベントの開催、参加(4病院)

- ・サロンの実施と継続（3病院）
- ・マニュアル作成、整備による質の向上（3病院）
- ・フィードバック体制（満足度調査）の体制構築（2病院）
- ・院内周知と研修会（2病院）
- ・正確で適切な情報提供（がんサポートブックえひめの活用など）（1病院）
- ・相談記録の検討（1病院）
- ・相談対応のモニタリングについての検討（1病院）

**【困っている事、専門部会の取り組みが必要と感じる事】**

- ・他施設で支援センターの案内・がんサポートブックえひめをどのように活用しているのか情報共有したい。
- ・コロナ禍で中止されているサロンや市民公開講座などについて、対応の変更や前向きな取り組みの情報を共有したい。
- ・相談記録について他病院の基本形式の活用や記録の対象などについて知りたい。
- ・マニュアルの作成のひな型作成を専門部会で取り組めないか。
- ・フィードバック体制について県内での情報共有や整備を検討したい。
- ・サロンについて県内で協力して取り組むことはできないか。
- ・相談員の育成について取り組んでほしい。
- ・WEB会議では発言が限られると思う